2012年9月12日

各　　位

会社名　新華ホールディングス・リミテッド
(URL：www.xinhuaholdings.com)
代表者　最高経営責任者（CEO）
ワン・ビン
（東証マザーズ　コード番号：9399）
連絡先：　最高経営責任者（CEO）
兼最高財務責任者代理（CFO）
ワン・ビン
（電話：上海 8621-2310-0008）
連絡先：　東京事務所
小澤　裕美
（電話：03-4570-0740）

連結子会社の清算に関するお知らせ

新華ホールディングス・リミテッド（以下「当社」といいます。）は、2012年８月７日付「連結子会社の事業の停止及び業務遂行の過程で生じた損害・損失に関するお知らせ」並びに2012年８月29日付「連結子会社の事業の停止に関するお知らせ」にて予告しました通り、当社の韓国所在の連結子会社であるキジューン・エデュケーション・カンパニー・リミテッド（以下「キジューン」といいます。）とGMSエデュケーション・カンパニー・リミテッド（以下「GMS」といいます。）を清算することを、当社取締役会において決議しましたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

1．清算の理由

当社は2011年１月にキジューンを買収しましたが、同社は買収後より継続的に損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローを計上し、当社の資金援助無しでは事業の継続が困難な状態にあり、2012年６月１日付で、同社は全ての事業活動を停止しており、また、2010年11月18日に当社の100%子会社である新華ファイナンシャル・ネットワーク・リミテッド（香港）を通じて、GMSの株式70%を取得いたしましたが、キジューンの事業停止を受け、当社経営陣の決議によりGMSの事業を停止しております。2012年８月７日付「連結子会社の事業の停止及び業務遂行の過程で生じた損害・損失に関するお知らせ」並びに2012年８月29日付「連結子会社の事業の停止に関するお知らせ」にて予告しました通り、当社取締役会は、キジューン及びGMSを清算することを決議いたしました。

2．当該連結子会社の概要

(1)	名　　称	キジューン・エデュケーション・カンパニー・リミテッド （Kijoon Education Co., Ltd.）
(2)	所　在　地	韓国ソウル市蘆原区中渓洞364-19
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役　Mr. Cui Jian（事実上既に離職）
(4)	事　業　内　容	学習進学塾の運営
(5)	資　本　金	130,000,000韓国ウォン（9百万円）
(6)	設　立　年　月　日	2001年12月1日

(7)	大株主及び持株比率	新華ファイナンシャル・ネットワーク・リミテッド（香港） 100% （注）新華ファイナンシャル・ネットワーク・リミテッド（香港）は当社の 100%子会社であります。
(8)	従業員数	4 名

(9) 前年度の経営成績及び財政状態

（千米ドル（百万円））

決算期	2011 年 12 月期
純資産	△576 (△46)
総資産	1,233 (98)
売上高	2,083 (165)
営業利益／損失△	△309 (△25)
経常利益／損失△	△400 (△32)
当期純利益／損失△	△401 (△32)

(1)	名称	GMS エデュケーション・カンパニー・リミテッド	
(2)	所在地	韓国ソウル市蘆原区中渓洞 364-196F Sambu プラザ 6F	
(3)	代表者の役職・氏名	学校長 Mr. Cho Chang Mo	
(4)	事業内容	学習進学塾の運営	
(5)	資本金	100,000,000 韓国ウォン（7 百万円）	
(6)	設立年月日	2010 年 7 月 13 日	
(7)	大株主及び持株比率	新華ファイナンシャル・ネットワーク・リミテッド（香港）70% （注）新華ファイナンシャル・ネットワーク・リミテッド（香港）は当社の 100%子会社であります。	
(8)	従業員数	50 名	
(9)	上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社が 100%保有している新華ファイナンシャル・ネットワーク・リミテッド（香港）により 70%保有されています。
		人的関係	GMS のディレクターである Mr. Chui Jian 及び Ms. Yvonne Siuhung Wang は以前、当社の従業員でありました。
		取引関係	取引関係はありません。

(10) 当該会社の最近３年間の経営成績及び財務状態

（千米ドル（百万円））

決算期		2010 年 12 月期	2011 年 12 月期	2012 年 12 月期（上半期）
自己資本比率	%	235	60	△75
総資産	千米ドル （百万円）	1,795 (142)	1,222 (97)	207 (16)
売上高	千米ドル （百万円）	158 (13)	1,880 (149)	871 (69)
営業利益／損失△	千米ドル （百万円）	△46 (△4)	△242 (△19)	△62 (△5)
経常利益／損失△	千米ドル （百万円）	△50 (△4)	△276 (△22)	△76 (△6)

当期純利益／損失△	千米ドル (百万円)	△84 (△7)	△883 (△70)	△1,076 (△85)

(注) 「円」で表示されている金額は、2012 年 6 月 29 日現在の株式会社三菱東京 UFJ 銀行の対顧客電信売買相場の仲値である 1 米ドル＝79.31 円で換算された金額です。以下同じ。

3. 日程

・キジューン

平成 24 年９月６日　当社取締役決議

清算決了時期については未定。

・GMS

平成 24 年９月６日　当社取締役決議

清算決了時期については未定。

4. 今後の見通しについて

特別損失の計上及び今後の見通しにつきましては、いずれも、2012 年８月７日付「連結子会社の事業の停止及び業務遂行の過程で生じた損害・損失に関するお知らせ」、2012 年８月 13 日付「特別損失（減損損失）の計上、重要な連結子会社の連結範囲からの除外及び業績予想の修正に関するお知らせ」並びに 2012 年８月 29 日付「連結子会社の事業の停止に関するお知らせ」にてお知らせした通りです。

すなわち、キジューンと GMS に関わるのれんの減損損失及び資産の償却により、当社は既に 2012 年度第２四半期連結累計期間（2012 年１月１日～2012 年６月 30 日）において合計 2,854 千米ドル（226 百万円）の特別損失（減損損失）を計上し、キジューンと GMS の教室の原状回復費用 254 千米ドル(20 百万円)及び従業員退職金 103 千米ドル(８百万円)についても費用計上しております。また、今期に当社は GMS の資産に係る減損損失 150 千米ドル（12 百万円）を追加的に計上することを見込んでおります。

（参考）

2012 年度通期（2012 年１月１日～2012 年 12 月 31 日）の連結業績予想（日本 GAAP）

（単位：千米ドル（１株当たり当期純利益は米ドル)、
括弧内は百万円（１株当たり当期純利益は円)、但し%を除く）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
2012 年度通期予想	13,374 (1,061)	△5,627 (△446)	△6,284 (△498)	△9,458 (△750)	△6.24 (△495.05)
（参考） 前期実績[1] (2011 年度通期)	19,557 (1,551)	△13,492 (△1,070)	△7,590 (△602)	△6,933 (△550)	△4.58 (△362.86)

1. 適用為替レート：１米ドル＝79.31 円（2012 年６月 29 日現在の東京外国為替市場における外国為替相場（仲値））
2. 2012 年２月 17 日付の業績予想において適用された前回発表予想の為替レートは１米ドル＝77.74 円から 79.31 円に変更されております。
3. △は損失を示します。

以上

新華ホールディングス・リミテッドについて

当社、新華ホールディングス・リミテッドは主に中国において事業を展開しているグループ企業です。当社は金融サービス、農業関連及び教育関連の事業分野において商品並びにサービスを提供しています。東京証券取引所のマザーズ市場に上場（証券コード：9399）しており、上海に事業本部を構え、中国、香港、日本、韓国及び米国に拠点を配し、グローバルなネットワークを有しています。
詳細は、ウェブサイト：http://www.xinhuaholdings.com/jp/home/index.htm をご参照下さい。

本文書は一般公衆に向けられたプレスリリースであり、当社株式の勧誘を構成するものではなく、いかなる投資家も本書に依拠して投資判断を行うことはできません。当社株式への投資を検討する投資家は、有価証券報告書などの提出書類を熟読し、そこに含まれるリスク情報その他の情報を熟慮した上でかかる判断を行う必要があります。本書は多くのリスク及び不確定要素を含むいくつかの将来に関する記述を含んでいます。多くの事項が当社の実際の結果、業績または当社の属する産業に影響を与える結果、将来に関する記述で明示または黙示に示される当社の業績と実際の将来の数値とは大きく異なることがあります。